

久慈浜地区

(茨城県日立市)

- 計画期間 平成20年度～26年度
- 面積 113ha
- 交付対象事業費 1,889百万円
- 市人口 183,795人(地区内人口1,158人)

ポイント

ひたちBRTに関連する整備を軸として、交通利便性の向上を図るとともに接道不良宅地や浸水被害などの地区内に起きている課題解決を図るまちづくりを市民協働で進めた。

地区概要

本地区は、古くから港町として発展してきた太平洋沿岸の区域であり、低海拔の土地に老朽化した木造住宅が密集していることから、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを求められていた地区である。

目標

大目標：安全で快適なまちづくりの推進

- 目標①：安心して住み続けることができるまちづくりの推進
- 目標②：連絡道路の整備等による地域内移動の円滑化
- 目標③：日立電鉄線跡地を活用した新たな交通環境の整備

指標

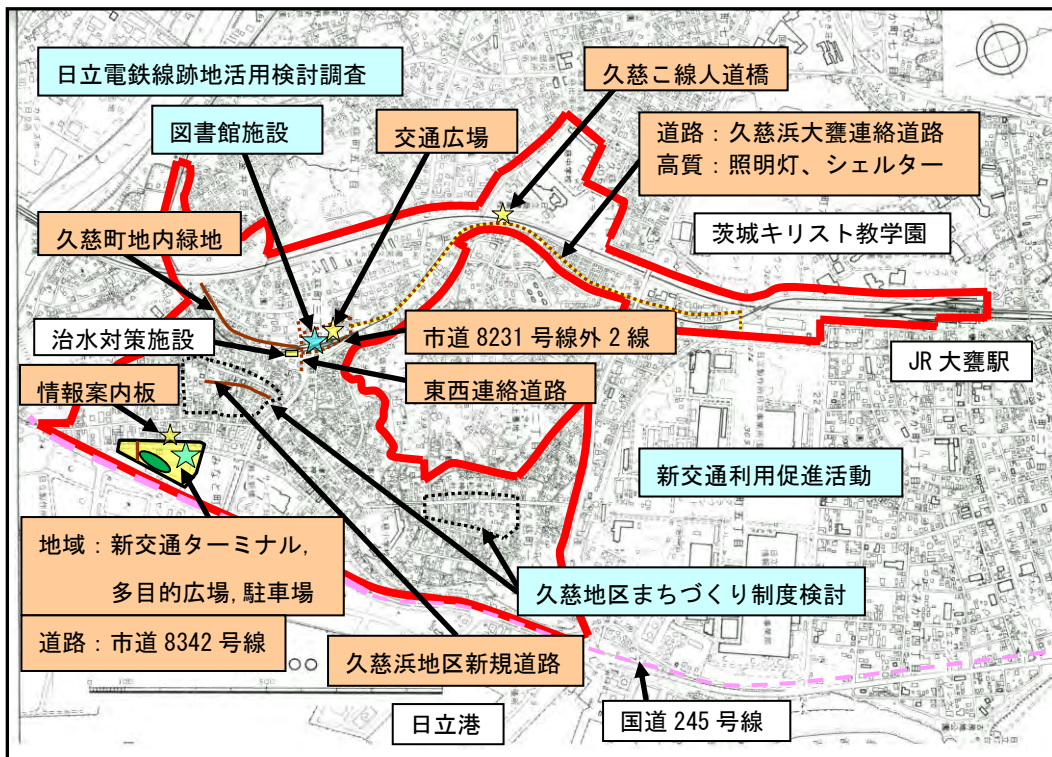
安全で安心なまちづくりをめざし、生活利便性と交通利便性の向上を図る目標値とした。

項目	現況値 (年)	→	見込み値 (年)
既成市街地の建替え	22宅地 H20	→	2宅地 H26
消防署から久慈浜駅舎跡地西側までの緊急車両移動時間	3分 H20	→	2分 H26
久慈浜駅舎跡地からのJR大甕駅までの車両移動時間	14分 H20	→	8分 H26

事業内容

基幹事業 (1,178百万円) → 道路 (9線 総延長 2,135m)、交通広場 (1,400㎡)、新交通ターミナル (1,600㎡)、多目的広場 (2,000㎡)、駐車場 (3,300㎡)、久慈浜地内緑地 (370㎡)、情報案内板 (3基)、久慈こ線人道橋 (141m)、久慈浜大甕連絡道路 (1,300m)

提案事業 (711百万円) → 図書館施設 (4,400㎡)、まちづくり検討調査、日立電鉄線跡地活用検討調査、新交通利用促進検討調査、新交通利用促進活動



地区の現況と課題

久慈浜地区は、日立港の後背地として、太平洋沿岸の地域を中心に漁業や水産加工業のまちとして栄えてきた。

しかしながら、近年では、周辺部の都市化により、狭隘な道路に囲まれた住宅は接道不良宅地として空き家となり、久慈浜地区内を流れる瀬上川周辺の土地は低海拔なため、大雨での浸水被害を幾度となく受けている。この状況から、地域住民からは生活利便性を高めるような都市基盤の強化とともに市民の移動手段であった地方鉄道日立電鉄線が平成17年に廃線となったことで、交通利便性の確保が求められていた。



大甕久慈浜連絡道路

(バス専用道走るひたちBRT)

提案事業の特徴

シンボル施設「南部図書館」の整備

当市南部の図書行政の拠点施設として「南部図書館」を整備した。

まちづくり制度の検討

接道不良宅地を解消するための制度を検討した。

ひたちBRT導入の検討

廃線となった日立電鉄線跡地活用としてバス専用道として整備し、定時性と速達性に優れたBRTを導入することを検討した。

ひたちBRTの利用促進活動への支援

みんなに利用しやすい公共交通となるように「ひたちBRT」の利用促進活動を展開する団体へ支援した。



日立市立南部図書館

(かつての港町久慈浜を象徴する船のデザイン)

計画策定プロセス

久慈浜地区都市再生整備計画は「市民協働」を基本方針として、地域とのワークショップや意見交換を幾重にも実施し、下記の調査、構想をもとに地区内の課題解決のために策定されました。

1 「久慈地区土地利用検討調査」…浸水被害への治水対策や日立電鉄線により分断された地区の一体性を高める道路整備などの具体策を打ち出した。

2 「日立電鉄線跡地活用整備基本構想」…学識経験者、交通事業者、地域コミュニティ組織などのメンバーにより、日立電鉄線跡地を公共交通専用空間として活用する方針を打ち出した。



ひたちBRTと交通広場

(定時性と速達性に優れたBRT)

日立市長のコメント

この度、市民等と一体となって取り組んだ久慈浜地区都市再生整備計画の事業が評価されたことは大変うれしく思います。本地区は、日立港の後背地として、水産関連の事業者が多く立地する地区ですが、低海拔地で狭い道路が多く見られることから、移動性や防災性の向上が求められた地域でした。

その期待に応えるために、地域住民の声を反映させながら、久慈浜地区都市再生整備計画を策定し、廃線となった日立電鉄線跡地を活用した新交通「ひたちBRT」の導入事業を軸に沿線の道路整備や拠点施設整備を推進したことで、生活利便性の向上につながるとともに地区全体の都市基盤強化が図られました。

今回のまち交大賞の受賞を機に、今後は「歩いて暮らせるまち」を目指して、市全域にコンパクトシティ・プラス・ネットワークが形成できるように地域等との連携・協力を図りながらまちづくりに邁進していきたいと考えております。

久慈学区コミュニティ代表のコメント

- ・ひたちBRTの整備などの一連の事業を通して、久慈浜地区にまちづくり意欲を高める効果をもたらしたと感じます。
- ・久慈浜の整備をきっかけに、おさかなセンターが道の駅に登録されたことで、来訪者も多くなり、以前よりも賑わいを感じるようになってうれしい。
- ・本市の誇れる交通機関「ひたちBRT」を日立の文化として根付くように関連イベント等を実施していきたい。